

新左京区基本計画 素案への意見募集について

1 意見募集の概要

募集方法 左京区役所，岩倉・八瀬・大原・静市・花脊・久多出張所等での配架。
左京区役所ホームページに掲載。市政協力委員等への送付等

募集期間 平成22年7月1日～7月31日

回答数 74人（郵送，FAX69人・ホームページ5人）

- ・男女構成 男性32人（43.2%）
女性35人（47.3%）
無回答7人（9.5%）
- ・年齢構成 20歳未満 0人（0.0%），20歳代 0人（0.0%）
30歳代 5人（6.8%），40歳代 9人（12.2%）
50歳代 9人（12.2%），60歳代 23人（31.1%）
70歳代 18人（24.3%），80歳以上 3人（4.1%），
無回答 7人（9.5%）
- ・件数 232件

2 意見募集の結果（概要）

◆左京区にくらす人々の「自然を愛で，歴史を学び，文化を楽しむ『豊かなところ』を大切に伝えます」という目標について，ご意見をお聞かせください。（32件）

- ・左京区は「豊かなところ」を持った人が多い。抽象的だが，的を射た目標だと思う。
- ・目標に賛成である。言葉は簡単だが，言葉の意味を掘り下げて実行していきたい。
- ・左京区民が実感できる目標となることを期待する。
- ・自分の足で歩いて自然を感じ，歴史や文化を楽しみたくなる目標である。
- ・左京区は身近なところに「豊かなところ」を育む環境が整った地であり，目標として賛同する。
- ・左京区は緑が多く，文化にも恵まれているので，住民としても幸せである。新左京区基本計画の目標に沿って，さらに進めていきたい。
- ・左京区は自然に恵まれ，豊かな歴史があふれる場所である。その中で生活している私たちは，これを後生にしっかり伝えていく必要がある。
- ・自然と歴史と文化を通して「豊かなところ」を育てる左京区政をぜひ実現したい。
- ・自然を守り育む気持ち，歴史を知ろうという気持ちを，親から子へと伝えてほしい。
- ・「豊かなところ」を持たない閉塞状態の世の中を変革するようなまちづくりを，この地域から率先して実現していくことが必要である。
- ・よい目標であると思う。（3件）

- ・左京区民であることに誇りを持ち続けたいと思う。そのためには、目標だけで終わらせないように、各人が自覚し努力すべきである。
- ・理念は左京区の特徴に合っている。ただし、区民は左京区に誇りを持っているものの、人とのつながりは希薄であると感じており、行政が人々をどう巻き込んでいくかが重要である。
- ・左京区は自然、歴史、文化面において優れているが、区民にはその自覚がない。左京区を宣伝する機会をもっと増やせば、「豊かなところ」を大切に伝える認識が生まれてくるはずである。
- ・「豊かなところ」を育てるには、教育・休暇・教養のあり方と、子どもからお年寄りまで多くの人達の交流が大切である。そのことを念頭においたまちづくりをしてほしい。
- ・美しい目標であるが、もっと実際の生活にあったものでなければならないと思う。
- ・コンセプトはよいが、具体策が見えない。区民が共通認識をもって取り組めるようにすれば素晴らしい。
- ・左京区の伝統、文化、自然環境を健全な状態で次世代に引き継ぐことは重要であるが、実際に引き継ぐとなると少子高齢化のため難しい。地域が協力して交流の場を増やすことも重要である。
- ・この目標を日常生活の中で実践していきたい。しかし、積極的に活動に参加するとなると区民しんぶん等の情報だけでは難しい。
- ・左京区にふさわしい目標だが、その実行には行政の力に依存するところが多い。
- ・左京区にあった目標だとは思いますが、具体的ではない。
- ・若者が集まれる行事や場所がないため、「豊かなところ」を伝えることができない。若者やお金が左京に多く集まるような工夫も必要である。
- ・この目標は左京区だけでなく、他の区でも当てはまるよい目標だと思う。しかし、目標の達成はどうやって判断するのか。内容が抽象的で具体的でない。
- ・よい目標だと思うが、実際に実行できるかが問題である。身近なところから自然を大切にしていかなければならない。
- ・目標の達成のためには、交流し、考え合うための場所が必要である。
- ・平凡で、京都らしい保守的な目標だと思う。未来に向けてもう少し斬新で画期的な目標も入れてほしい。
- ・「豊かなところ」は、その地域で暮らす人たちが大切にされてこそ生まれるものである。人が大切にされず、建物も守られず、文化を楽しむ場所も作られていないのに「豊か」という言葉が並んでいるのは納得がいかない。
- ・自然・歴史・文化があっても、そこに住む人の交流がなければ「豊かなところ」は成長しないのではないかと。具体的提案を考えてほしい。
- ・長く住むことで自然に形作られていく「ところ」は、目標とはいえない。
- ・「ところ」にまで踏み込んでいなくてもいいのではないかと。

◆「取組指針1～美しい自然のまちづくり～」,「取組指針2～歴史・文化・学問のまちづくり～」,「取組指針3～ひとにやさしい温もりのまちづくり～」について,ご意見をお聞かせください。(134件)

◆「取組指針1～美しい自然のまちづくり～」について (61件)

自然環境 (10件)

- ・鴨川,高野川などの美しい川をいつまでも美しくしたい。
- ・水辺のある風景を整備してほしい。
- ・美しい自然を失わないことこそが最高の財産である。
- ・区内のどこに行っても自然,きれいな花がたくさん見られる。畑や庭も,都の名残が残っていて情緒が漂っている。
- ・野菜の直売所を多く作り,農業の活性化をしてはどうか。
- ・区役所と農協と小学校が協働し,北部地域で野菜作りの指導等,地域の人と交流する場を設けるとよい。
- ・左京区の北部地域は,農林業担い手不足である。一方で,自然に恵まれた土地で農作業をしたいと考えている人がいる。猿鹿対策をする等,受け入れ態勢の強化をしてほしい。
- ・吉田山や大文字山の枯れ木対策については,美しい自然を守るうえで重要な課題である。早急に対策に取り組んでほしい。
- ・東山の自然を更に輝ける山として保全することは,住民にとっても大切なことである。もう一步踏み込んだ自然環境を作ることが大切だと思う。
- ・自然を守るために具体的に何をするのが分からない。

まちの美化 (15件)

- ・いつまでも住み続けられる美しいまちにしたい。
- ・主要な道路に愛称をつけることで,住民がその道路に親しみを持つことができ,道路の清掃やまち全体での美化活動を進められるのではないか。
- ・自分の家の前と両隣の前までは,余裕をもって清掃するよう,皆で心がけてはどうか。高齢化が進み,自分の家の前の道路ですら掃除できない状態の家庭もあるはずだ。
- ・家の前の道を少し多めに清掃するよう心がけ,道行く人にあいさつのできる,美しいまちにしてほしい。
- ・街路樹に花の植込みをすれば,誰が見ても気持ちいいし,町内で水やりができる。
- ・街路樹の根元に雑草が茂っていると,ごみのポイ捨てが増えるので,なるべく雑草を除くようにしている。ごみが捨てるににくい環境づくりを心がけていきたい。
- ・道路のアスファルト化よりもまちの緑化を進めてほしい。また,ごみ問題は住民だけでなく,事業所や観光客にも協力してもらわなければならない。

- ・左京区は山，川，自然が美しいが，コンビニ店の前は自転車，バス停にはごみがあふれている。まず区民の生活態度から見直すべきだと思う。
- ・左京区の観光の玄関口である出町柳駅周辺の美化を強く希望する。
- ・山間部の高齢化，人口減少の影響で，田畑，水田が放置された状態になっている。道路も少し脇道に入ると木々の枝が散乱し，清掃ができていない。
- ・資源ごみの出し方について，①家庭で小さめの袋に小分けしてから指定袋に入れて出す。（カラスに荒らされても散らかる量が最小限になる），②菓子の袋や包み紙などは，細く折って量を減らす。（散らばらない）について区民しんぶん等で呼びかけてほしい。
- ・大型ごみ等の不法投棄対策として，年に1度でも無料回収日を実施してほしい。
- ・観光地付近に住んでいるが，ごみの収集が12時以降になる時がある。観光地に近い場所は収集時間を早くするか，回収箱を置いてごみが見えないようにしてほしい。
- ・指定日以外に出されたごみが，収集されないまま放置されて，まちの景観を損なっている。早急に検討してほしい。
- ・大学周辺は美化の点でまだまだ問題がある。落ち葉の清掃等は大学でしてほしい。

歩きやすいまち（27件）

- ・左京区は他の区に比べて歩道が広く，最も歩きやすいと思う。歩きやすいまちづくりより，車やバスの交通環境の整備，渋滞を減らすことが必要ではないか。
- ・歩いて楽しい，走行して美しい“車・歩道”の整備が，区民生活を豊かで快適にする最も大事な活動である。
- ・大文字がどんな場所からもよく見え，自転車で観光できるまち並みにしたい。
- ・電柱等の地中埋設を進めることで，道路が広くなり，事故が減って，景観もよくなる。
- ・電柱があると，ベビーカーを押すのに苦労するので，電柱の地中化を進めてほしい。
- ・電柱の地中化を進めてほしい。
- ・学生の自転車のマナーが悪い。（3件）
- ・自転車のマナーが悪く，困っているので取り締まりをしてほしい。
- ・自転車のマナーも気になるが，携帯を見ながら歩く人が多いのも気になる。
- ・学生と交通道路面でのトラブルが多いので，ルールを守って仲良くやってほしい。
- ・駅周辺は自転車の違法駐輪が特に多い。鉄道会社等と協力して，もう少し駐輪場を確保してほしい。
- ・出町柳駅前に自転車がたくさん放置されている。駐輪場を整備してほしい。
- ・自転車が車道を走るのは危ない。自転車専用レーンが必要である。
- ・朝夕の時間帯に自転車専用レーンを作してほしい。スーパーに駐輪場があるように，公共施設やバス停，駅などに駐輪場を作る必要がある。
- ・駐輪場の整備，乗り捨て可能なレンタサイクル施設の増設，店舗への駐輪場設置の義務付け等を検討してほしい。

- ・市バスの路線系統を見直し、地下鉄との乗り継ぎをよくしてほしい。
- ・歩道や中央分離帯の除草作業をもっと頻繁に（年4回程度）行い、道路を明るく美しくしてほしい。また、大きな河川に散歩道を1 km以上作り、ベンチを設置してほしい。
- ・河川の遊歩道整備、幅員拡大や落下防止用の柵や遊具の設置、除草、草花を植える、子どもやお年寄りが簡単に利用できるスロープや階段の整備等を進めてほしい。
- ・歩道橋を撤去して歩道を広げてほしい。自転車、通行人、バス待ちの人で通れない時がある。また、階段しかない駅が多いのでスロープを設置してほしい。
- ・狭くて暗い公園をなくし、歩道を広くし、街灯を設置してほしい。
- ・人にやさしいまちを目指すなら、車に規制かけたほうがよいと思う。狭い路地でも速度を落とさず、歩行者に対して横柄な態度のドライバーが多い。
- ・バリアフリーの整備をしてほしい。
- ・歩きやすいまちづくりが進むよう期待する。左京区民としてできることを考え、実行していきたい。
- ・遠出をするときにバスに乗ろうにもバス停が遠く、待ち時間も長い。自転車の駐輪場もない。もう少し考慮してほしい。
- ・10年後、自分が自転車に乗れなくなったら外出をどうすればいいのか心配になる。

自然と調和した都市基盤整備（7件）

- ・利便性を重視しつつ、環境に配慮した道路整備を早急に進める必要がある。
- ・景観保護のために、建物の外観規制を厳しくしてほしい。
- ・疎水沿いに散歩用の小道があり、その木陰を通ると涼しく感じる。もっと街路樹を増やすとよいと思う。また、カブトムシや昆虫が集まる木を、道や公園にたくさん植えて、子どもが虫取りをできる環境を作ってみてはどうか。
- ・北山通りに高いビルが建ち並び、「妙法」が見えにくくなってしまった。これは規制を十分につけなかったことが原因である。
- ・高速道路のインフラ整備が他都市に比べて遅れており、活性化は難しい。
- ・道路整備は構想から完成まで長期間かかるので、常に基本計画に入れる必要がある。
- ・公園や河川、緑が非常に多い反面、公共の温泉等がない。風致地区では、建蔽率や容積率が厳しいので、幹線道路周辺の規制を緩和して、大型商業施設の誘致しやすい環境を整えてほしい。

消防・防災（2件）

- ・花折断層が縦断している左京区では自然災害が心配される。地域の安全を守るために、もう少し力を入れてほしい。
- ・自然災害が起こったときの対策を、もっと強化してほしい。

◆取組指針2「～歴史・文化・学問のまちづくり～」について（31件）

歴史資源・文化財（5件）

- ・左京区は色々な名所，旧跡があって感動的である。
- ・文化的地域の継承発展は，区民の意見を反映したものであってほしい。
- ・歴史文化は常に変化しているものであり，学ぶ姿勢がなければ成立しない。
- ・下鴨神社は世界遺産登録後，大きく変わっていると思う。これ以上変化していくことを望んでいない。ゆっくり自然のまま流れていけばよいと思う。
- ・左京区の歴史は本当に素晴らしい。それを知らない人たちは，まず自分の目で見てよさを知り，勉強し，よくしていこうと自覚を持たなければならない。

伝統行事・伝統文化（3件）

- ・伝統行事の紹介や参加の呼びかけをもっと大々的に行うべきである。
- ・住民，地域，企業からの奉賛金が年々少なくなり，行政等からの補助なしでは神社の祭の継続が難しくなっている。住民に対して，区から奉賛金の呼びかけをしてほしい。
- ・大文字の送り火の日は，マンション屋上を住民のために解放してほしい。

国際交流・観光（4件）

- ・左京区の外国人登録者の国籍数が100を超えていることを知り，多国籍な区であることを実感した。外国人と地域の人がともにくらすまちづくりは本当に大切だと思う。
- ・左京区の自然，文化財の歴史的背景や見所について説明をしてくれる観光ボランティアが少ない。
- ・左京区は観光場所が多いが，他府県に比べて公衆トイレが少ない。
- ・京都は自然に恵まれ，学問に適しており，地方からもたくさん人がやってくる。また京都へ行ってみたい，という気持ちにさせることが大切である。

文化・芸術（8件）

- ・生涯学習で地元の京都の文化・歴史を学ぶことができ，数多くの催事で伝統行事に触れられるのは，この土地に住んでいるおかげである。
- ・左京区には，一般的にあまり知られていない文学作品がまだまだたくさんある。これらをまちづくりに生かしてはどうか。
- ・文化・芸術の施設に無料開放日を設けてほしい。
- ・北山や岡崎の文化地区は京都市の施設が主流で，区民のための施設が不十分である。
- ・学生だけでなく，高齢者も低予算で文化・芸術を学べるようにしてほしい。
- ・ふれあいまつりなどの文化交流ができる機会をもっと増やしてほしい。
- ・気軽に「歴史・文化・学問」に触れる機会がほしい。広報誌等で催しを知っても，入場

料，参加料が高く，機会を逃しがちである。

- ・文化は住民が守り育てたものである。文化を観光用としてまちづくりを進めるのではなく，住民の思いを汲み取ったまちづくりをしてほしい。

大学のまち（11件）

- ・左京区の大学生は，皆いきいきとしていて親切である。
- ・大学等の学識者に，学術文化の向上の協力をしていただければ素晴らしいまちづくりができると思う。
- ・世界に誇れる技術や特許を，地元企業と大学で協力して作り出していける環境を整えろとよい。また，農林・伝統産業等の後継者不足を大学で養成していくのも重要である。
- ・大学まかせではなく，大学生のアイデアを取り入れながら，区民が主体的に取り組むことが大切である。
- ・京都大学のような豊かな環境を作ってほしい。
- ・大学と区民が協力することで，よりよい方向に進むであろう。
- ・大学の規模拡大とともに，移転が進んでいることに危機感を感じる。学生にも，学者にも，学校にも魅力のある地域になるための具体策を望む。建物の規制を緩和による大学流出の防止や，若者を増加させる工夫が必要ではないか。
- ・大学で色々な取り組みがなされているが，一般的に知られていないことが多い。回覧をうまく利用して，高齢者にも分かりやすく伝えるべきだ。
- ・学生のマナー（自転車，ごみ出し）が悪い。これらは日頃から顔を合わせ，声を掛け合っていくことで改善されるはずだ。
- ・6つの大学が連携して区のために何かをしたことを聞いたことがない。
- ・学生のまちを売りに住民を増やすのはよいが，個人またはマンション等の管理会社が町内会費を払うよう徹底してほしい。

◆取組指針3「～ひとにやさしい温もりのまちづくり～」について（42件）

子ども（12件）

- ・子どもや高齢者が安心・安全に暮らせる地域社会を作ってほしい。私も区民の一人として「豊かなところ」を子や孫の世代に伝えたい。また，地域のまちづくりのために，子どもや高齢者への声掛け運動や見守り活動にかかわっていきたいと思っている。
- ・小中学校向けの土曜塾はよいと思う。幅広い年齢層からさまざまなことを学べ，貴重な体験ができる。
- ・まちの子ども達，小学生，中学生を対象に自然学校をつくり，山間地で野外活動を体験させ，人間という立場を考える時間を作ることが重要である。歴史や文化は，自然と時間の流れの中で身につけて体得するものである。

- ・子どもと同時に母親を守る必要があると思う。児童館を母親達も交流できるよう充実させ、子育てのストレスを上手に発散できる場にしてほしい。
- ・八瀬地域の小学校は児童の人数が少ない。統廃合するか、近くの小学校と交流する機会があれば、友達が増えるし、競争心もうまれる。
- ・少子化の進行と核家族化の課題しか挙げられていないが、現実には保育所の待機児童数の増加で困っている人が多い。社員の子育てに理解のある企業への独自支援策を作り、「左京区の企業・事業所・大学は、子育てに理解がある」ということを前面にアピールしてはどうか。
- ・子どもに不寛容なまちは、“ひとにやさしい温もりのあるまち”とは言えない。
- ・子どもが楽しく遊べるスペースを、地域ごとに作ってほしい。
- ・以前の岡崎公園は子どもが遊べる広いスペースがあったが、今は野球やテニスでしか使えない。子どもの遊び場を取り上げないでほしい。
- ・子ども達が自由に使える施設がほしい。未来を担う子どもたちの声を入れた学校、地域づくりが必要である。
- ・住宅地の道路は、車優先ではなく、子どもの遊び場となってほしい。全てが老人優先と思っている高齢者にも問題がある。
- ・よいものを長く使うことの喜びを、子ども達に教える必要がある。

高齢者（9件）

- ・高齢者が自主的にボランティアグループを作り、活動できるようサポートしてほしい。
- ・博識で話の面白い一人暮らしの老人が活躍できるような場を作してほしい。
- ・高齢者でも参加できる簡単な体操広場、文化教室を近所に作ってほしい。高齢者の骨密度検査をしてほしい。また、高齢者が参加できる行事を作してほしい。
- ・一人暮らしの高齢者の福祉活動に力を入れてほしい。
- ・高齢者の一人暮らしが増え続け、子どもの数は減っている。弱者を支援するとよいと思う。また、これらの人達に対してボランティア活動等がかかわっていききたい。
- ・公共交通機関を高齢者にとって充実したものにしてほしい。
- ・高齢者のためのまちな設備が不十分であるので、もっと充実させてほしい。
- ・一人暮らしのお年寄りが安心して暮らせるまちづくりを考えてほしい。
- ・左京区は老人が多いので、区や町内の中で、優しさや温もりが必要だと思う。

障害のある方（1件）

- ・素案の中でも、特に抽象的な取組内容であると思う。もっと具体的に「家族支援に力を入れる」などの取組を盛り込めないだろうか。

市民参加 (10件)

- ・地域活動の輪を広げ、より一層地域をよく知りたいと思う。
- ・北部地域に区民講座等ができる施設がない。場所が遠いと参加できる人が限られてしまう。京都アスニーや山科アスニーのような施設を左京区にも作ってほしい。
- ・地域の人々が集まる場所がなく、町内会の機能が果たせていない。情報を共有し、意見が出せる場を持ちたい。
- ・地域活動で説明等に使える設備（スクリーン、プロジェクター等）がほしい。
- ・自分達のまちは自分達で作る、守るという観点が大切である。区民が本当に左京区を大切に思い、やりがいのあるまちづくりができるような、町内、学区内での組織づくりを、行政の方からも働きかけてほしい。
- ・地域の住民は、区政に対してあまりにも無知である。自治連合会も機能していない。現場でもっと市に協力できるような自治体作りに力を入れていくことが大事である。
- ・左京区は自然に恵まれ、歴史や文化がたくさんある素晴らしいまちである。区民はもっと左京区の良さを知り、住民参加型のまちづくりをしていく事が大切である。
- ・行政と住民が一体となった組織作り等を考えていく必要性を感じる。
- ・自然環境の保護、生活環境の保全（都市計画も含む）、伝統文化の継続を実現するために、区内の観光社寺が積極的に地域活動等に参加する必要がある。
- ・区民の自治意識をもっと高めるために、地域連合会の組織の見直しが必要である。

交流・共生 (10件)

- ・子ども、高齢者、障害のある方の集まれる場所が不足している。児童館、集会所等の施設を充実させてほしい。
- ・高齢者・障害者が地域の活動に気軽に参加できるような環境づくりが大切である。
- ・子どもからお年寄りまで、様々な年代の人が気軽に集える交流の場所がほしい。
- ・「人にやさしく親切に」を誇りにされている人ほど、実際は実行できていない。まず身近な近所付き合いができないといけない。
- ・地方から来る学生と、仲良くやっていけるように心がけたい。
- ・左京区をよくしていきたいとの自覚のもと、地域の方々と仲良くしていきたいと思っている。
- ・北部地域の小学校跡地などに、留学生や単身赴任者が安心して住める施設を提供してはどうか。地域内にもぎやかになると思う。
- ・北部地域の施設をなかなか利用できない時がある。
- ・左京区は国籍や出身地もさまざまな人が共生し、非常に住みやすいまちである。しかしファミリー向け物件が不足し、左京区に住みたいが仕方なく他の区や滋賀県に住まざるを得ない人も多い。ファミリー向け物件を増やす政策を作り、公営住宅の整備を行う等の必要性がある。市原、静原あたりは新しい住宅地に適しているのではないかな。

- ・まちづくりを考える視点を持つことと、いろんな世代、職業の違いをつなげていく仕組み作りが大切である。

◆この先10年の左京区のまちづくりの中で、あなた自身をもっと良くしてほしいと思うこと、または、あなた自身がかかわっていききたいことについて、ご意見をお聞かせください。
(15件)

- ・人の流出が少なく、若者がたくさん来るまちにしてほしい。
- ・若者が左京区に永住できるようなまちづくりをしてほしい。
- ・若者が住み続けられる、魅力ある左京区になってほしい。若者が働くことへの希望が持てるような提案を積極的に取り入れてほしい。子ども、高齢者にとってやさしい取組みをしてほしい。左京区から京都市へ声を届けられるようになってほしい。
- ・低所得者の生活を守り、豊かな生活が送れるようにしてほしい。
- ・岡崎地区に、この先何百年・何千年と続く地下商店街を作してほしい。
- ・岩倉に小学校（岩倉西小学校）を作してほしい。
- ・空き家一帯を取り壊して、マンションを建ててほしい。
- ・すべての人が住みやすいまちになってほしい。すべては小さい事の積み重ねである。
- ・古い建物の保存、子どもたちの成長への手助けにかかわっていききたい。
- ・左京区住民自身が、歴史・文化・学問を身近に感じられるように、様々な取組みをしていきたい。歴史・文化・学問に“絆”をも加えた地域振興を考えたい。
- ・21世紀は文化の時代である。文化や芸術、学問を通じて、区の発展のために交流を図るべきだ。このような交流の一助になればと考えている。
- ・久多学区の50～60歳代が、久多の10年後の事を考え、自治活動を前向きに考えてくれている。
- ・現在久多学区内では、久多里山協会を設立し、5～10年後を目指して若年層に呼びかけをし、地域の活性化に一生懸命努力しているところである。
- ・学者、芸術家、宗教人は、その地域にとどまらない傾向があるように思う。そのような特色を考慮した上で、住みよい行政サービスのある区になればいいと思う。今は公共サービスが拡充されたようには思えない。
- ・個人の写真展や絵画展などを開催してみたい。

◆その他、計画全般について、ご意見があれば、お聞かせください。(51件)

計画全般について (32件)

- ・これまでの行政主体の事業計画から、区民や事業者、大学等の協働で取り組む幅広い計画策定になったことを評価する。市全体の基本計画から大きくはずれることなく相互補完するものであってほしい。区民以外の外部の人々からの幅広い意見も取り込んでいくことで、よい次代のまちづくりができると思う。

- ・よい計画ばかりなので実行してほしい。
- ・この計画が今後も続くことを願う。
- ・円卓会議の意見が反映されておりうれしい。
- ・取組指針1「美しい自然のまちづくり」が一番の課題である。また、計画を実施していくうえで、区民しんぶんの役割は大きいと思う。
- ・歩きやすいまち、福祉への取組み、自然と調和した都市基盤整備に特に力を入れてほしい。高齢者への支援と子どもの安心・安全にかかわっていきたい。
- ・目標は、具体的な取り組みを通して実現していきたい。左京ボイス、町内回覧板などを利用して、住民に納得がいく取組として周知徹底を心がけてほしい。
- ・現在の基本計画との継続性が見られず、どのような左京区を目指すかについて一切触れられていない。
- ・アンケートやワークショップで区民の意見を聞くだけでなく、もっと区民のマンパワーを利用してほしい。
- ・予算の裏づけなしに長期目標を掲げるのではなく、様々なリスクをどのように軽減するかを計画する必要がある。
- ・今回の基本計画は具体性に乏しく、抽象的である。また、新基本計画策定の前に、現基本計画の実施・到達についての評価・検証が必要である。区役所は、住民に役立つ、協働して地域を作る場所であるべきだ。個人ができること、協働すること、行政がすることという分け方でない基本計画が大事である。
- ・全体的に漠然としていて意見が出しにくい。計画というよりは、理念の羅列である。区政は、住民が納得するものであってほしい。第三者による事業仕分けが必要だ。
- ・区役所がもっと権限と予算をもって、独自性を活かした行政ができればよい。
- ・役職者の会議だけで決めるのではなく、左京区に住む働く人達の声をもっと拾いあげる仕組みを作ってほしい。
- ・著名人でなく、一般住民の意見を聞いてほしい。色々なことを具体的に知りたいし、区政に参加したい。
- ・今後、基本計画を作成するときは、区民に広く意見を聞く場を持ってほしい。
- ・非常に抽象度の高い表現が多く、意見を出しにくい。
- ・キャッチコピーと実態に乖離がある。今あるものの維持に力を入れていくことがこれからの時代には必要である。
- ・取組内容が実行できれば素晴らしい。
- ・10年で人の心が変わるとは思えない。世界を平和にするためには庶民の生活も必要である。
- ・子どもにとって楽しいのか、若者にとって魅力的なのかが、事業・企画のメインにあるようにしてほしい。
- ・いずれも重要な項目であるが、少子高齢化や核家族化のため、周囲を気遣えない区民が

増加傾向にある。まずは区民に浸透させる方法・対策が必要である。

- ・取組指針を実現するためにも具体的提案がほしい。
- ・子どもを育み，若者を見守る視点に立ち，子どもや若者が積極的に参加できる政策を立案，実践してほしい。
- ・自然，歴史，文化を守るだけでなく，次世代の左京区を育てていくことに重点を置いて計画に取り組むべきである。
- ・人々の生活の変化，行動の変化などが次代の流れを創造する。それらをリサーチし，この先10年を見るのと同時に，過去10年はどうであったかも見つめ直さなければならない。
- ・「左京区住民円卓会議」が開かれているのは大いに結構である。どんな計画でも，区民の声を大切に進めてほしい。
- ・実行あるのみ。
- ・国内でも1，2を争うような広い面積を占めている左京区は，各地域によりかなりの独特の特徴がある。各地域の目標を取り上げないと，左京区全体の視野で考えられない。
- ・いつも感謝の気持ちを持って過ごしていれば，まだまだ知らない京都の事が自ずと分かってくるように思う。
- ・経済活動のみに重点が置かれ，心の面が置き去りにになっているのではないか。場所を設け，交流してほしい。
- ・区役所が各区の特性を踏まえて取り組みを進めてほしい。

左京区役所の移転について（19件）

- ・吉田の住民として区役所移転跡地の問題を考えると，学区民の願いを取り上げ，「歴史・文化・学問のまちづくり」に沿うようなものであってほしい。庁舎移転後，旧区役所を芸術系の大学や文化系の研究者たちの発信の基地として利用できたら素晴らしい。「左京の自然」「左京の歴史・文化」の展示コーナーを設けてほしい。
- ・現区役所は地域交流の場，文化芸術の発展拠点として絶対に残すべきである。
- ・庁舎移転後の旧庁舎を，区民のための施設にしてほしい。
- ・交流し，考え合う物理的な場所が必要である。区役所の跡地の一角を利用し，区民が交流し，集える場所にすればよいと思う。
- ・左京区の旧庁舎を，南部のコミュニティセンターとしての機能として利用してほしい。
- ・旧庁舎を区民のために使えるとよい。
- ・現区役所を売却するのは歴史に悔いを残す選択である。
- ・区役所が遠い住民のために，支所を作ってほしい。
- ・庁舎移転に伴い，南部を分区して区の新設をしてもよいくらいだ。少なくとも，現庁舎に支所を設置すべきである。
- ・庁舎移転に伴い，松ヶ崎周辺の交通の便をよくしてほしい。

- ・南部地域は高齢者も多く、人口が集中している。庁舎移転後も、支所の機能を残してほしい。
- ・庁舎移転に伴い、吉田地域の振興について左京全般の取組みから漏れないよう、配慮してほしい。
- ・現区役所は、文化財にもなる価値ある建物である。松ヶ崎の新庁舎にかかる予算を最低限にし、南部のまちづくりを考えてほしい。
- ・庁舎移転に伴う南部地域のまちづくりを考えてほしい。区役所は区民が利用できる施設として残してほしい。
- ・区役所の新庁舎は、広すぎるし、高すぎると思う。また、駐車スペースが少ない。住民が利用しやすい開かれたシステムを希望する。
- ・旧区役所の有効利用、自然を身近なものにし守ること、まちの医療や福祉の充実にかかわりたい。主役は住民である。意見を聞く場をもっと設けてほしい。
- ・先人達の贈り物として、今ある建物や風景、伝統を引きついでいきたいものだ。行政の何でも売却する姿勢はやめ、いいものは残してほしい。
- ・古いものは壊すのではなく、文化財として残すべきである。住民が集まり、誇りとなる場所として大切にしてほしい。
- ・京都市のFC（フィルムコミッション）で、映画の撮影に適した昭和初期の建物として登録されているような評価されている建物をぜひ残してほしい。